

第47回 中東協力現地会議 ビジネスレポート (オマーン)

丸紅株式会社 オマーン支店長
並木 慎吾

1. オマーン概要
 2. 日系企業の事業展開
 3. 弊社事業展開
 4. オマーンビジョン2040
 5. 特別自由経済区への外資誘致
 6. グリーン水素・アンモニア、政府・政府機関の皆さまへの要望
- ❖ Appendix

1. オマーン概要

- 安定した政権基盤・政権運営
- 伝統的な全方位・善隣外交を継続しているが、ガザ情勢を巡っては明白にパレスチナ独立の必要性を訴える
- 地理的優位性

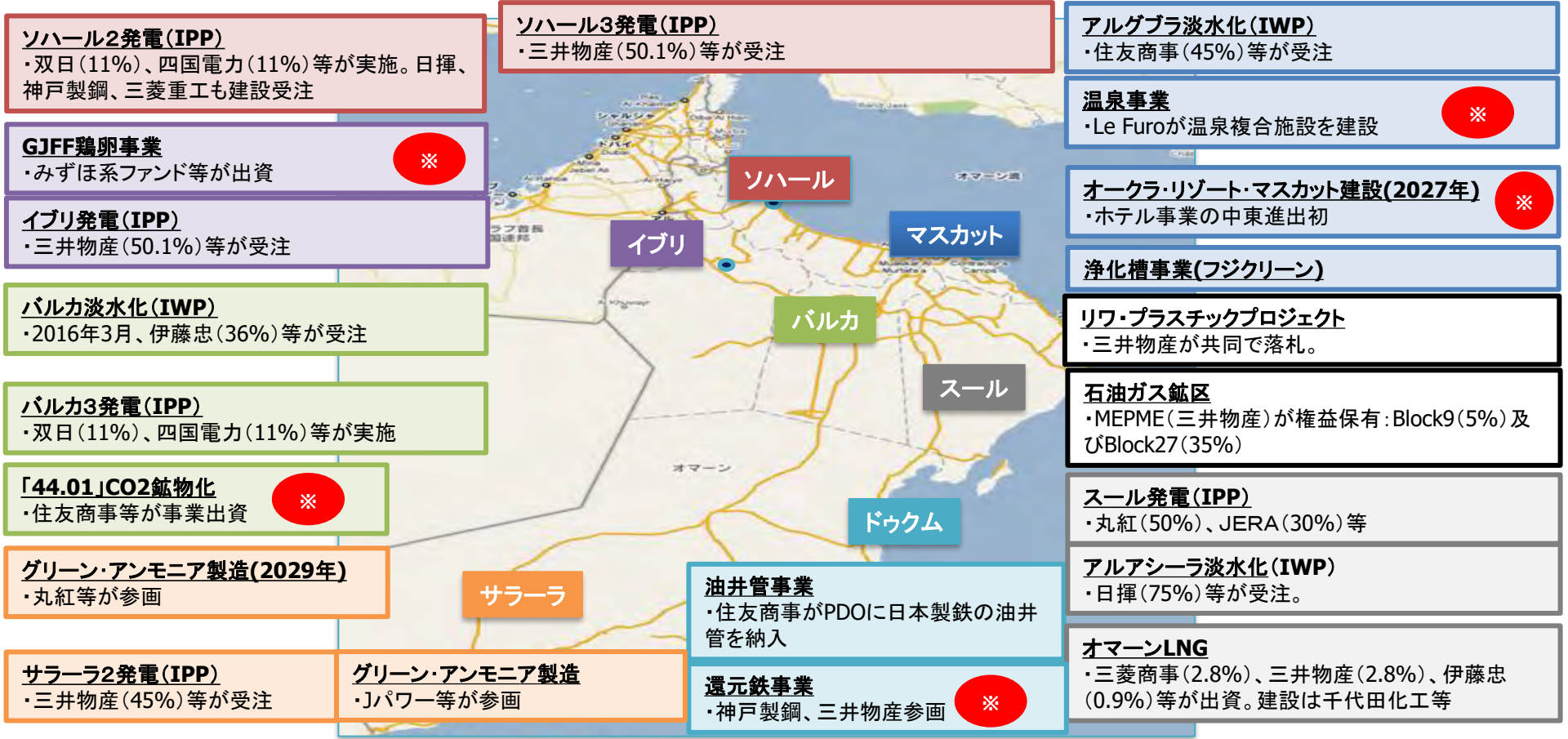
面積	約31万km ² (日本の約85%)
人口	約520万人 (自国民約57%)
政体	君主制
元首	ハイサム・ビン・ターリク・アル・サイド国王陛下
議会	二院制
外交	非同盟中立、全方位・善隣外交
名目GDP	1,091億米ドル (2023年 IMF)
1人当たりGDP	23,295米ドル (2023年 世銀)
実質GDP成長率	1.3%% (2023年 世銀)



- ✓ 「Numbeo社」発表の「Quality of life Index 2024 Mid-Year」において世界第4位、アジア・中東圏で第1位（2位：日本、3位：Qatar）
- ✓ 2023年、AirHelp社が発表した顧客サービス満足度で、マスカット国際空港が世界1位
- ✓ 3,000 m級の山々（ジャバル・アフダル）、アラビアのスイスと呼ばれるDhofar地方など数多くの観光名所

2. 日系企業の事業展開

- 国内の火力発電の約7割、造水量の約3割を請け負う
 - 伝統的なエネルギー分野のみならず、観光事業(温泉、ホテル)、スタートアップとの資本業務提携等、幅広い分野での取組が進み始めている(下記※)
- (ヒアリングベース)



* 順不同、敬称略



SUR複合ガス火力発電事業

- オマーン最大のガス火力発電所
- 2,000MWの天然ガス焚き複合火力発電所をBOO、長期売電契約にてNPWPへ売電
- Main Interconnected Systemの27%を供給
- 運転開始10年、no LTI (Loss Time Incidents)



Amin太陽光発電事業

- オマーン初の商業用太陽光発電所
- 105MWac太陽光発電プラントをBOO、長期売電契約にてPDOに売電



原油

- エネルギー・鉱物資源省との直接契約、30年以上
- DME (GME) の活用



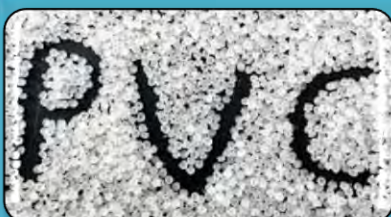
石膏、石灰石

- 石膏、極東向けに販売
- 日本向け輸出シェアNo.1



銅スラグ

- 日本品をショットブラスト用途としてGCC各国に供給



化学品

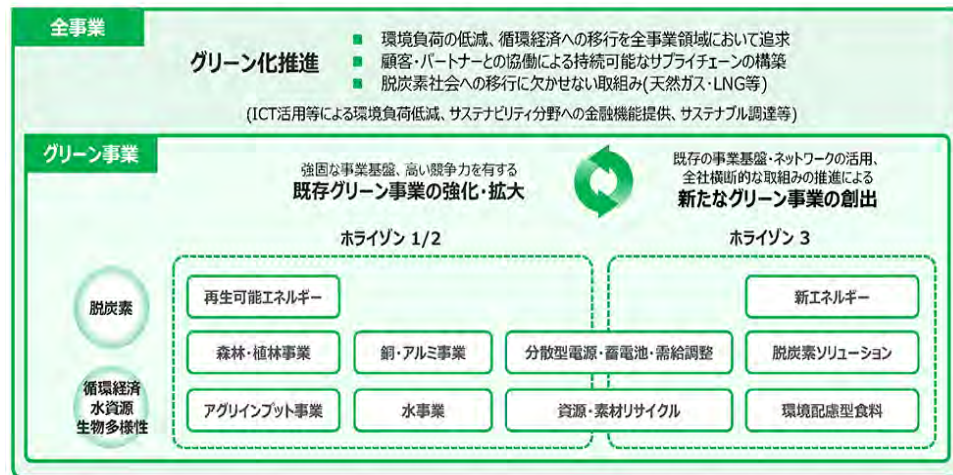
- PVC, エチレン、プロピレンを輸入

Salalah H2 プロジェクト

- ✓ 中期経営戦略にてグリーンへのトップランナーになることを標榜、グローバルにグリーンビジネス事業開発を展開
- ✓ OQ Alternative Energy, Dutco Overseas, Samsung C&Tとコンソーシアムを組成、2023年12月にHydromと事業開発契約および用役権契約を締結
- ✓ 2029年、グリーンアンモニア年産100万トンを目指

「グリーン事業*の強化」と「全事業のグリーン化推進」により

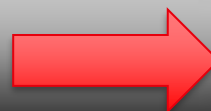
グリーンへのトップランナーへ



* 脱炭素・循環経済等、地球環境に対するポジティブな影響を与えるリスティングは事業、およびそれらの事業が必要とし且つ代替困難な原材料等を供給する周辺領域（「補足資料①」グリーン事業の取組み）をご参照ください。



- ❑ 油ガス収入が歳入の約70%
- ❑ 確認埋蔵量及び可採年数が相対的に少ない



産業の多角化が急務

原油

順位	国名	埋蔵量 (Billion bbls)	可採年数
1	Venezuela	304	>500
2	Saudi Arabia	298	74
3	Canada	168	89
4	Iran	158	140
5	Iraq	145	96
6	Russia	108	28
7	Kuwait	102	103
8	U.A.E	98	73
9	US	69	11
:			
13	China	26	18
14	Qatar	25	38
:			
21	Oman	5	15

天然ガス

順位	国名	埋蔵量 (TCF)	可採年数
1	Russia	1,320	59
2	Iran	1,134	128
3	Qatar	871	144
4	Turkmenistan	480	231
5	US	446	14
6	China	297	43
7	Venezuela	221	334
8	Saudi Arabia	213	54
9	U.A.E	210	107
:			
18	Kuwait	60	113
:			
27	Oman	24	18

- 教育、福祉、経済、財政、環境等、12分野に分け、国内・国際指標の目標値を設定
- 2023～2024 Q1に65%前後で推移した非油ガス事業の対GDP比率を2040年に91.6%
- 人口は2029年に600万(IMF)、外需を取り込む産業・バリューチェーンの構築・育成が不可欠

オマーン・ビジョン 2040 の主要数値目標

分野	項目	ビジョン策定前	2040年目標
教育	世界技術革新ランキング (GII)	69位 (2018年)	上位20カ国入り
社会福祉	一人当たり実質GDP (伸び率)	6,264 OMR (2017年)	90%上昇
経済	実質GDP成長率	3.6% (2000～2017年平均)	5%
経済	非石油産業のGDP比率	61% (2017年)	91.60%
経済	経済複雑性指数	62位 (2016年)	上位10カ国入り
環境	総消費量に占める再生可能エネルギー消費量の割合	0% (2015年)	35% - 39%
環境	環境パフォーマンス指標 (EPI)	116位 (2018年)	上位20カ国入り
投資	純FDI投資のGDP比率	4.12% (2017年)	10%
雇用	民間部門におけるオマーン人比率	11.6% (2016年)	40%
ガバナンス	政府の有効性、世界ガバナンス指標	81位 (2017年)	上位10カ国入り

5. 積極的な外資誘致

GC2024

- 自由経済貿易区へ積極的に外資誘致、Sohar, Duqm, Salalahを中心に2023年末までの累計投資額が500億米ドルを超過（2023年単年の投資額は91億米ドル）

Vulcan Green Steel (Jindul Group)

30億米ドル。Duqmに年産620万トンのグリーン水素対応製鉄工場、2027年生産開始予定

United Solar Holdings

13.5億米ドル。Soharに年産10万トンのポリシリコン工場、2025年運転開始予定

Hainan Drinda New Energy Technology

7億米ドル。年産10GWのPV cell工場



- 本年4月に2つの新規プロジェクトが発表、プロジェクト合計の総投資額約480億米ドル、予定される水素生産量の合計は略137万トン
- 広い国土、日照量、風況、安定した政府基盤、インド洋に面しチョークポイントの無い港は、グリーン水素生産・輸出国としての優位性
- オマーン政府のグリーン水素戦略、2040年までに年間325万トン、2050年までに850万トン、1,400億ドルの累計投資

プロジェクト/コンソーシアム	場所	再エネ容量 (GW)	水素生産量 (ton)
Amnah	Duqm	4.50	215,000
BP Oman	Duqm	3.50	150,000
Green Energy Oman	Duqm	4.00	150,000
POSCO, ENGIE	Duqm	5.20	200,000
Hypport Duqm (phase 1)	Duqm	1.30	50,000
Hypport Duqm (phase 2)	Duqm	1.40	50,000
Salalah H2 (OQ, 丸紅, Samsung, Dutco)	Salalah	4.50	175,000
EDF, J-POWER, Yamna	Salalah	4.50	178,000
Actis, Fortescue	Salalah	4.50	200,000
合計		33.40	1,368,000

インフラ整備

- Hydrom中心にインフラ開発を監督する諮問委員会設立
- 送電網、淡水化プラント、パイプライン等教諭設備をOQGN, OETC等国営企業が中心となり建

国内外ステークホルダーとの協力

- ドイツダイ大学との「オマーン水素イニシアチブ」
- アムステルダム港らと水素輸出に向けた共同調査契約

サプライチェーンの誘致

- 前出のVulcan Green Steelなど

他国はインフラ整備 + α の優遇措置を実施



- ・「地域水素ハブプログラム」、ハブ構築に5.26億豪ドル
- ・「水素生産税優遇措置」、2030年までにFIDを行うプロジェクトに最大10年間、2豪ドル/kgの優遇措置（計67億豪ドル）
- ・「Hydrogen Headstart」早期に事業開始する企業に今後10年で13億豪ドル



- ・インフラ投資法に基づくクリーン水素ハブ支援 70億ドル
- ・インフレ抑止法予算の内、2,100億ドルを租税優遇政策として企業に直接提供、再エネのTax Creditも賄われる
- ・再生可能水素生産者 = 最大3米ドル/kg. CCUS実施量 = 0.75~0.9米ドル/kg



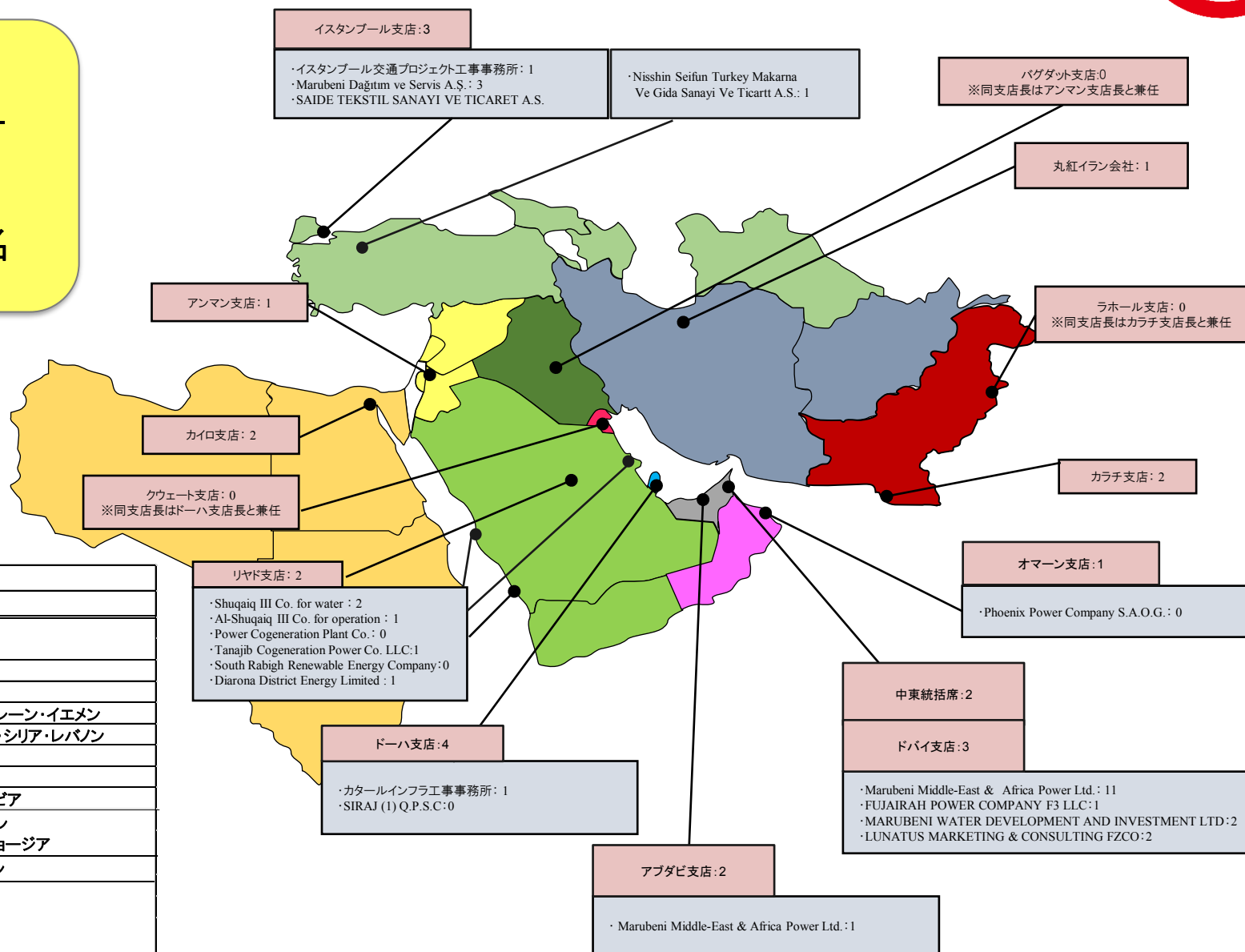
- ・SIGHTプログラム、コンポーネント1, 2 合計1,749億ルピー（21億米ドル）
- ・送電線利用費用（Wheeling Charge）無料（国施策）
- ・電解装置・アンモニア合成プラントのCapex 30%補助（州施策）

Appendix-1. 丸紅 中東拠点・管轄地域

GC2024
(2024年4月現在)

14拠点 50名

- ・駐在員: 23名
- ・出向者: 25名
- ・工事事務所: 2名



<中東統括(ドバイ)管轄>

拠点	管轄地域
ドバイ支店	アラブ首長国連邦
アブダビ支店	アラブ首長国連邦
ドーハ支店	カタール
オマーン支店	オマーン
リヤド支店	サウジアラビア・バーレーン・イエメン
アンマン支店	ヨルダン・パレスチナ・シリア・レバノン
クウェート支店	クウェート
バグダッド支店	イラク
カイロ支店	エジプト・スーダン・リビア
イスタンブール支店	トルコ・トルクメニスタン アゼルバイジャン・ジョージア
丸紅イラン会社	イラン・アフガニスタン
カラチ支店 (傘下店) ラホール支店	パキスタン


Appendix-2. 丸紅 中東での主な活動

(2024年4月現在)

GC2024


<トルコ>

- ・ コマツ製建機販売事業
- ・ 輸出用衣料品企画販売事業
- ・ 化学品貿易
- ・ パスタ製造輸出事業
- ・ Marmara Ereğlisi IPP(実績)
- ・ 鉄鋼製品貿易




<イラン>

- ・ ガスタービン納入(実績)
- ・ 石油製品貿易(実績)
- ・ 鉄鋼製品貿易(実績)
- ・ いすゞ製トラックCKD貿易(実績)
- ・ 石化プラント資機材納入(実績)
- ・ 鉄道信号設備・気動車納入(実績)




<カタール>

- ・ Mesaieed IPP
- ・ Al-Kharsaa太陽光発電事業
- ・ 原油・石油製品貿易
- ・ 石油化学製品の引き取り




<イラク>

- ・ サマーワ ディーゼル発電所建設(実績)
- ・ 13病院リハビリ(実績)
- ・ ベイジ肥料工場リハビリ(実績)



<ヨルダン>

- ・ 車輛ナンバープレート認識システム、医療機器納入等、無償協力案件




<クウェート>

- ・ 石油・石化製品貿易




<エジプト>

- ・ 鉄鋼製品輸入
- ・ 乾燥たまねぎ、ハーブ輸出
- ・ 化学品輸入



<サウジアラビア>

- ・ Rabigh 太陽光発電プロジェクト
- ・ Co Gen IPP(ARAMCO向け)
- ・ Tanajib IWSP
- ・ Shuqaiq IWP(R/O膜)
- ・ 地域冷房事業
- ・ 石油・石化製品貿易
- ・ 鉄鋼製品貿易
- ・ 東洋ゴム製タイヤ貿易



<アラブ首長国連邦>

- ・ Sweihan 太陽光IPP
- ・ Taweelah B IWPP
- ・ Taweelah A2 IWPP
- ・ Fujairah F2 IWPP
- ・ Fujairah F3 ガス炊き発電
- ・ Shuweihat S2 IWPP
- ・ 石油・石化製品貿易
- ・ 電力ケーブル敷設
- ・ 鉄鋼製品貿易
- ・ モノレール建設(実績)
- ・ 医薬品ディストリビューション




<オマーン>

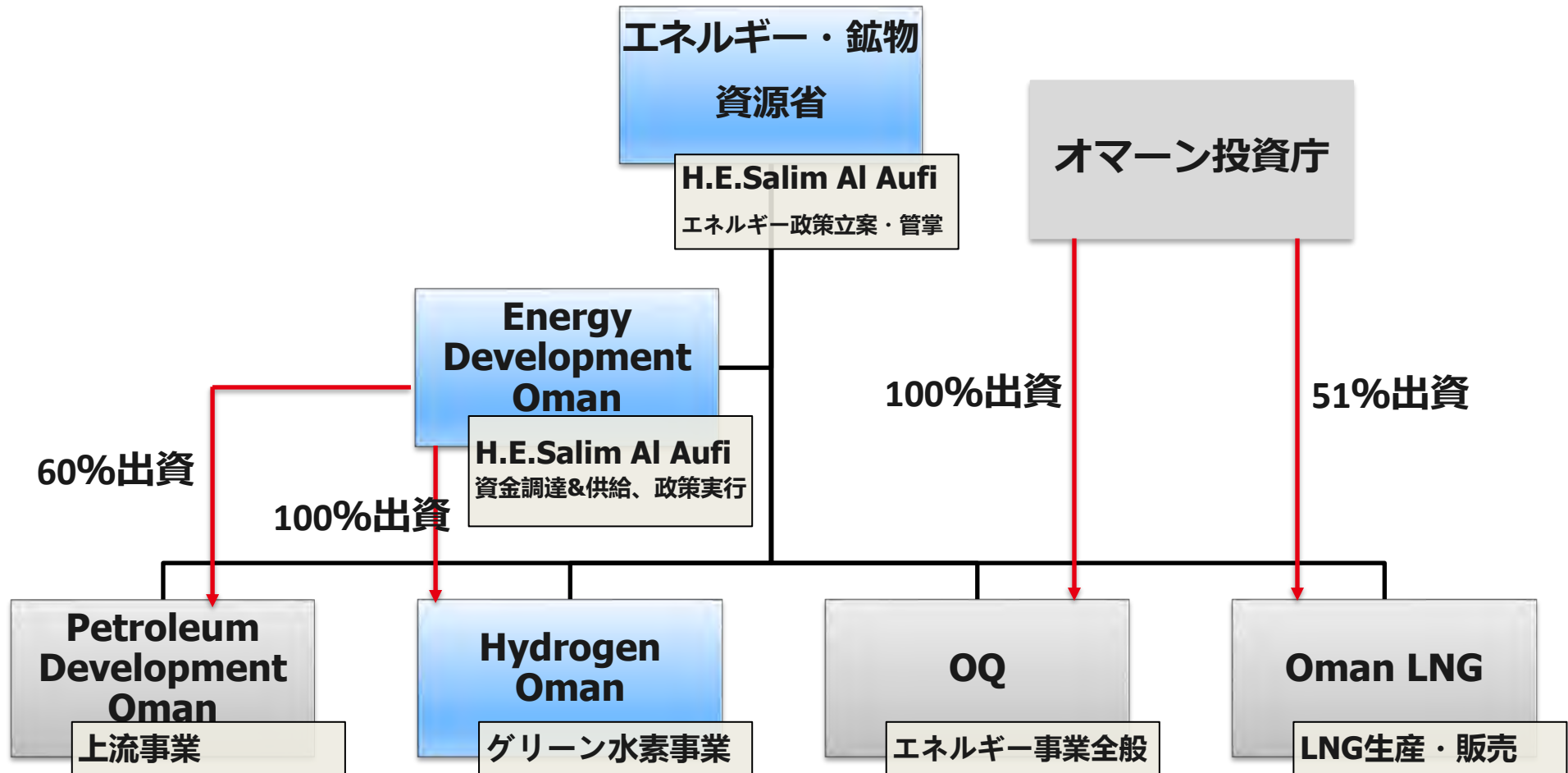
- ・ Sur IPP
- ・ Amin太陽光IPP
- ・ 原油輸出
- ・ 石膏輸出
- ・ 銅関連製品輸入
- ・ 石化製品貿易



<パキスタン>

- ・ いすゞトラック・バスCKD
- ・ Tapal IPP事業
- ・ 化学品の輸入
- ・ 繊維製品の日本向け輸出
- ・ PARCO石油精製所建設/国鉄向け機関車納入(実績)







ご清聴下さり、誠に有難う御座いました！！

